

平成 27 年度（公財）北海道サッカー協会フットサル強化指定審判員研修会②

報告者 網走地区協会審判員 加藤 具哉

日 時：平成 27 年 7 月 11 日（土）、12 日（日）

場 所：札幌市南区体育館、札幌市東区体育館

宿 舎：札幌サンプラザ

研修内容：テスト（学科：競技規則テスト）

講義（審判理論「競技規則解説・審判法・ビデオ研修」）

プラクティカルトレーニング

審判実技「第 16 回北海道フットサルリーグ」

参加者：インストラクター 3 名

審判員 7 名（内訳 札幌 4 名、旭川 1 名、十勝 1 名、網走 1 名）

●平成 27 年 7 月 11 日（土） 札幌市南区体育館

○プラクティカルトレーニング 13：00～

・ピッチ作り

○学科テスト 13：45～

○プラクティカルトレーニング 14：50～

・5 m、タッチジャッジ

○講義「ビデオ研修」 16：00～

●平成 27 年 7 月 12 日（日） 札幌市東区体育館

○モーニングトレーニング 6：30～

○審判実技「第 16 回北海道フットサルリーグ」 9：00～

・北海道大学 ESPERANZA 2-6 NAPO 主審担当

インストラクターより

- ・ファウルの判定基準にバラつきがあった
- ・競技者への対応

・Bommac 4-4 D.C Asahikawa Futsal Club 主審担当

インストラクターより

- ・プレーをやらせすぎている→ファウルの線引き
- ・アドバンテージの機会を笛で止めてしまった→状況をしっかり見る
- ・距離への対応、カードの出し方など毅然とする

◎まとめ

自分のレフェリングのテーマとして、タフにプレーさせよう意識しているが、どこまでやらせるべきなのか線引きし、負傷につながらないように気をつけ、判定基準を試合を通して維持する必要がありました。

競技者のコントロールについてはまだ不足している部分があるので改善していかなければなりません。